



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順
コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 青山 秀美

TEL 0584-48-2832

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	35,173	11.4	589	—	169	—	△2,177	—
27年3月期第2四半期	31,580	2.8	△926	—	△1,143	—	△1,577	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △2,797百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △2,340百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△248.41	—
27年3月期第2四半期	△180.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	58,348	7,410	6.6
27年3月期	59,904	10,363	10.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,876百万円 27年3月期 6,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	8.3	1,300	—	240	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	9,771,000 株	27年3月期	9,771,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,004,922 株	27年3月期	1,004,922 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	8,766,078 株	27年3月期2Q	8,766,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界情勢は、米国では、家計部門を牽引役として景気回復が続いており、欧州では、個人消費と輸出主導で回復基調を維持しております。アジアでは成長ペースが鈍化し、特にタイでは外需低迷が内需にも波及し厳しい状況となっております。日本では、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、全体としては、先進国を中心に緩やかな成長基調を維持した状況で推移いたしました。

当社グループが属する自動車業界においては、米国では消費者心理が高いことから好調な販売を維持しておりますが、中国では景気減速の影響により、自動車市場が低迷しております。また、日本国内ではエコカー減税の基準厳格化による販売不振からは回復に向かっているものの、衝突安全性能や地球環境問題などの社会的ニーズは高まり続けており、業界として対処すべき課題は年々増え続けております。

このような状況のもと、当社グループは厳しい収益状況からの早期脱却と、持続的な企業成長に向けた「丸順構造改革プラン」を推進しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35,173百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益は589百万円（前年同四半期は926百万円の営業損失）、経常利益は169百万円（前年同四半期は1,143百万円の経常損失）の増収増益となりましたが、減損損失及び事業構造改善費用等の計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,177百万円（前年同四半期は1,577百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、エコカー減税の基準厳格化による減産の影響などを受け、売上高は前年同四半期を下回りましたが、「丸順構造改革プラン」の着実な推進による製造原価の低減などにより、利益は前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は6,530百万円（前年同四半期比11.7%減）、経常利益は396百万円（前年同四半期は197百万円の経常損失）となりました。

(タイ)

タイにおいては、乗用車をはじめとする国内新車需要の低迷や為替影響等により、売上高は前年同四半期とほぼ同水準であったものの、製造原価低減に対する取り組み推進により損失は減少いたしました。

以上の結果、売上高は4,382百万円（前年同四半期比4.0%増）、経常損失は640百万円（前年同四半期は736百万円の経常損失）となりました。

(広州)

広州においては、中国自動車業界の失速の影響を受けるも、金型事業を中心に販売が拡大したことに加え、為替影響もあり売上高は増加しましたが、設備費及び労務費などの固定費が増加したことで利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は10,479百万円（前年同四半期比25.4%増）、経常利益は16百万円（前年同四半期比95.9%減）となりました。

(武漢)

武漢においては、広州同様自動車市場の失速の影響を受け、売上高が大幅に減少したほか、設備費及び労務費などの固定費負担が相対的に増加したことで利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は2,473百万円（前年同四半期比22.9%減）、経常損失は75百万円（前年同四半期は237百万円の経常利益）となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、主要顧客の増産及び為替等の影響を受け、売上高が増加したほか、品質安定化に伴う検査費用、外注費及び経費などの削減により、利益は前年同四半期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は11,139百万円（前年同四半期比31.9%増）、経常利益は897百万円（前年同四半期は542百万円の経常損失）となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、中古車販売やサービス部門では収益が底堅く推移するも、エコカー減税の基準厳格化による新車販売の低迷により売上高、利益ともに前年同四半期を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,539百万円（前年同四半期4.4%減）、経常損失は0百万円（前年同四半期は4百万円の経常利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における資産総額は58,348百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,555百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が1,036百万円増加、受取手形及び売掛金が3,000百万円増加、有形固定資産が4,132百万円減少、投資その他の資産が1,050百万円減少したことが要因であります。

負債総額は50,938百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,398百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が2,726百万円増加、その他の流動負債が1,577百万円増加、長期借入金が3,941百万円減少したことが要因であります。

純資産は7,410百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,953百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が2,177百万円減少、その他有価証券評価差額金が462百万円減少、非支配株主持分が578百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
(企業結合に関する会計基準等の適用) 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。) 及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、 第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。 企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。 なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,579	4,616
受取手形及び売掛金	8,178	11,178
商品及び製品	518	609
仕掛品	3,156	1,486
原材料及び貯蔵品	1,536	1,428
その他	1,692	2,975
貸倒引当金	△78	△94
流動資産合計	18,582	22,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,235	8,189
機械装置及び運搬具(純額)	10,076	7,783
工具、器具及び備品(純額)	9,793	8,242
土地	2,243	2,227
リース資産(純額)	2,742	2,868
建設仮勘定	4,765	5,412
有形固定資産合計	38,855	34,723
無形固定資産	209	217
投資その他の資産		
その他	2,273	1,223
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,256	1,206
固定資産合計	41,321	36,147
資産合計	59,904	58,348

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,707	8,000
短期借入金	20,255	22,982
リース債務	894	1,034
未払法人税等	89	66
賞与引当金	19	19
その他	4,622	6,199
流動負債合計	33,588	38,304
固定負債		
長期借入金	12,781	8,840
リース債務	1,609	1,486
退職給付に係る負債	1,070	836
資産除去債務	87	88
その他	401	1,381
固定負債合計	15,951	12,634
負債合計	49,540	50,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	1,677	△500
自己株式	△626	△626
株主資本合計	3,023	846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	92
為替換算調整勘定	2,844	3,049
退職給付に係る調整累計額	△171	△112
その他の包括利益累計額合計	3,228	3,030
非支配株主持分	4,111	3,533
純資産合計	10,363	7,410
負債純資産合計	59,904	58,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	31,580	35,173
売上原価	30,336	32,098
売上総利益	1,243	3,075
販売費及び一般管理費	2,170	2,485
営業利益又は営業損失(△)	△926	589
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	12	7
為替差益	42	—
その他	72	57
営業外収益合計	132	69
営業外費用		
支払利息	334	428
為替差損	—	41
その他	15	19
営業外費用合計	349	489
経常利益又は経常損失(△)	△1,143	169
特別利益		
固定資産売却益	29	10
投資有価証券売却益	—	758
その他	62	1
特別利益合計	91	770
特別損失		
事業構造改善費用	—	616
固定資産売却損	2	2
減損損失	—	2,843
その他	39	20
特別損失合計	41	3,483
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,094	△2,543
法人税等	557	141
四半期純損失(△)	△1,651	△2,684
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△73	△506
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,577	△2,177

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,651	△2,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	△462
為替換算調整勘定	△759	289
退職給付に係る調整額	35	59
その他の包括利益合計	△688	△113
四半期包括利益	△2,340	△2,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,054	△2,375
非支配株主に係る四半期包括利益	△286	△422

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	6,271	4,184	8,030	3,039	8,446	1,607	31,580
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,126	29	327	167	0	3	1,654
計	7,397	4,213	8,357	3,207	8,446	1,611	33,235
セグメント利益又は損失(△)	△197	△736	407	237	△542	4	△827

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△827
セグメント間取引消去	△15
子会社配当金	△298
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△1,143

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディ アナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,715	4,339	10,064	2,378	11,139	1,536	35,173
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	814	43	414	95	-	3	1,372
計	6,530	4,382	10,479	2,473	11,139	1,539	36,545
セグメント利益又は損失(△)	396	△640	16	△75	897	△0	593

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	593
セグメント間取引消去	△60
子会社配当金	△363
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の経常利益	169

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
減損損失	—	—	—	—	2,843	—	2,843

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(減損損失)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当連結会計年度において当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額 (百万円)
アメリカ合衆国インディアナ州ウィンチェスター市	売却予定資産	機械装置、建物及び土地等	2,843

当社グループは、セグメント別を基本とし、内部管理上採用している区分を基礎として資産のグルーピングを行い、売却予定資産については予定される取引ごとにグルーピングを行っております。

正味売却価額が帳簿価額を下回った売却予定資産については、帳簿価額のうち回収可能価額を超過した額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は、主に正味売却価額により測定しており、正味売却価額は売却見込額により評価しております。